

街道関連団体の活動状況

The companion's activity

H20年度の活動開始とともに、街道関連各団体の総会等が各地で行われました。

●新たな街道団体発足…三陸沿岸・浜街道や横軸の街道もカバー「いわて街道交流会」

H20.7.5 岩手県盛岡市内にて

いわて街道交流会 設立総会

一街道探訪会、設立総会、街道談義が、岩手県盛岡市内で開催されました。

平成20年7月5日(土)16時より、「いわて街道交流会」設立総会へ参加してきました。岩手県内には「NPO法人奥州街道会議」(仙台にも宮城事務所があり)がありますが、こちらは奥州街道という筋での交流連携が主なことから、三陸沿岸の浜街道や横軸の街道もカバーするため、今回の「いわて街道交流会」の設立となったそうです。(みやぎ街道交流会 山屋レポートより)



総会会場の町屋

設立総会の様子

盛岡城警備 惣門遺址

●活動2年目を迎えて…平成20年度定期総会を開催「みやぎ街道交流会」

H20.5.17 宮城県仙台市・みやぎNPOプラザにて

みやぎ街道交流会 H20年度定期総会・記念講演会

以下に、みやぎ街道交流会 高倉会長の挨拶をご紹介します。

昨年5月に東回り航路の拠点である寒風沢で「みやぎ街道交流会」を立ち上げてから1年になります。その間、役員の方々の創意ある計画と行動により裾野が広がり、9月には「奥州街道を歩こう会」、11月には「みやぎ街道交流会第1回交流大会 in 栗原」が盛會裡に終わることが出来ました。

交流会は多くの方が参加して楽しむ会です。このような交流会が宮城県を取り囲んでいる各県では既に活動しており、「とうほく街道会議」という組織があり、その大会が今年秋に宮城県で行われます。

街道というラインは、県や市町村という境を越えて各地域の人々が参加して面となり、楽しさが広がります。今日、この総会に参加された皆さんは、その核として活動しておられる方々だと思います。

皆さんの興味・関心が交流会の場を通して楽しみ、その結果が史跡や自然の保護、活動となります。皆さんの活発なご意見がこれからの1年間の糧となることを期待します。

(平成20年5月17日 みやぎ街道交流会 会長 高倉 淳)



(参考) 記念講演会内容

「地域遺産の風致構成/金ヶ崎、そして仙台」

市民団体「まち遺産ネット仙台」事務局 大沼正寛氏

●設立から3年…東北各地の活動団体のプラットフォームを目指して「新生」とうほく街道会議

H20.7.2 宮城県仙台市・みやぎNPOプラザにて

とうほく街道会議 H20 総会

「とうほく街道会議」は、平成17年3月30日に設立後3年を迎えました。その間東北各地には、「ふくしまけん街道交流会」「羽州街道交流会」「NPO法人奥州街道会議」「出羽の古道・六十里越街道会議」「みやぎ街道交流会」「くりはら街道会議」「越後米沢街道・十三峠交流会」「あおもりかいどう会議」「いわて街道交流会」等、各地に根ざした新たな街道関連組織が設立されました。

当初はこれらの活動団体がなかったことから「とうほく街道会議」が地域の活動団体と直接交流連携することとしていましたが、広い東北を考えると、それは大きな課題でした。

しかし一方で「とうほく街道会議」がきっかけとして、また働きかけによりこれらの団体が出来たことも事実です。これらの団体と「とうほく街道会議」の関係は上意下達的な関係にあるわけではありません。地域づくりには地域の独自性

が求められますから、「とうほく街道会議」との関係は逆ピラミッドのような形になることが望ましいと考えています。その意味で、「とうほく街道会議」は、東北各地の活動団体のプラットフォーム(協議会的)の役割であるべきだと考えています。

このような状況を踏まえ、今回ようやく発展的な改組を決定し、新しい組織と新役員で新生「とうほく街道会議」がスタートしました。今後とも街道を活かした地域づくりのため貢献してまいりたいと思っておりますので、関係の皆様のご叱咤激励とご協力をお願い致します。

(とうほく街道会議 運営委員 山屋)

とうほく街道会議 第4回仙台・宮城大会
一観光と地域づくり・震災復興をキーワードに、開催決定—
11/21(金)・22(土)の2日間、仙台市内で開催します。

イベント告知

10月12日(日)・秋の名月:陰曆9月13日/宮城県松島町



※10月12日は芭蕉の命日(元禄七年)に当たります。

松島町町制施行80周年記念補助事業

(第七回おくの細道松島海道の旅)

「芭蕉の道を辿り、往時を偲ぶ観月の集い」

今回で7年目を迎える集いです。

船内からのお月見プログラムも用意されています。

お問合せ:奥の細道松島海道具事務局 tel 022-354-4721(奥平自宅)

8月1日より

参加者募集開始!!

(先着100名まで)

イベントの詳細や

お申し込みは、下記

事務局まで…

みやぎ街道交流会

NEWS

一巻頭言



交流の光で喜びの輪を

みやぎ街道交流会 幹事 岸憲之

六月十四日(土)八時四十三分 東京。テレビからの緊急地震放送、どこだろうと思っただけでなく、岩手・宮城北部地方にM7.2の地震発生。あわてて仙台的家族に連絡をとる。あわてて連絡をとると無事とのこと。ひと安心した。しかし、それから2日後、大変残念な悲報を知った。栗原市では代表的なアドバイザーのひとりである観光交流プランナーの麦屋さんの訃報です。

栗原市は、昨年みやぎ街道交流会の第一回会場に選定され大成功をもたらした地だけに、麦屋さんの訃報は栗原市の観光・街道に関わる人々にとり、我々を含む街道仲間にとってショックは計り知れないものでした。麦屋さんは常々「観光とは地域の資源に光をあてた。この言葉は我々街道交流会の設立趣意とも一致します。しかし、いつまでも嘆いても氏の為にはなりません。交流会のメンバーが少しでもその意図を汲み取り栗原市のために支援できるようにすることです。それが麦屋さんや街道交流会のためになります。

さて、みやぎ街道交流会が昨年五月に寒風沢島で発足してから早、一年三ヶ月がたちました。私自身、それと同時に東京へ転勤してしまいましたが、心暖かいメンバーのもとに助けられますが、心暖かいメンバーのもとに助けられます。東北各地の街道交流会等には相当数参加出来ました。なかでも「越後米沢街道・十三峠の黒沢峠敷石」、「有賀の里での集い」、「奥州街道の探訪」、「戊辰戦争一四〇年in七ヶ宿」等々は多くに思い深いものです。

それらに共通するのは交流の喜びであり楽しみです。参加の機会が増え交流の輪が着実に広がるにつれ、人を知り地域を知り、自然・歴史・文化・風土の奥深さを知る喜びが大きくなります。人では異業種の多くの方と知り合いになり色々な面で触発されました。地域では、栗原市の再発見であり、伊豆沼の自然や有壁本陣の凛とした美しさです。歴史では、七ヶ宿での奥州列藩同盟の裏舞台をはじめ奥大街道や見知らぬ種々の脇往還の歴史に魅せられました。文化では江戸もの食文化や郷土の手料理・地酒の味とおもてなしの心を知りました。

投稿写真コーナー

「6月の満月」

撮影:奥の細道松島海道 京野さん



おぼろ月夜の傑作ですね。皆さんも松島海道のイベント(※)に参加して、是非実物をご覧ください!(みやぎ街道交流会事務局談) ※巻末のイベント告知をご覧ください

どの地域にも目立たないが隠れた資源・宝があります。それを交流という光をあてて元気にさせるのです。そのためには地域の個性をよく知り、地域に適った光をあてることです。普通の蛍光灯や白熱球でいいのかわかりませんが、投光器のような強く華々しく光り輝かせるべきか、ロウソクのように幻想的に美しく輝くものにするかなど地域にあった光を十分に吟味選択することです。そして、確実に交流の光を射し喜びの輪を広げましょう。

これらはすべて五感に通じるものですが、街道交流会をはじめとしたイベントの構成要因からも来ています。基調講演や討論会から得られる有益な知識、街道談義からは地域の顔・個性の発見、探訪会からは名所史跡・風土とのふれあいなどどれも交流会の基本的素材です。さらに味付け料理の工夫による隠し味や風味をたしなみ、地域色たっぷりの演出による応用編は大変な楽しみみです。

平成二十年七月 みやぎ街道交流会 岸 憲之

みやぎ街道交流会 事務局連絡先

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地 みやぎNPOプラザ NPO ルーム
TEL022-292-1740/FAX022-292-1741/E-mail: miyagi-kaidou@auone.jp

活動報告

Activity

08'MAY~JULY

5月から7月上旬にかけて行われた、街道関連イベントへの参加レポートをご紹介します。

第10回 二井宿峠古道ハイク

—10回目となる今年のテーマは“吉田松陰と御城米の道歩く”—

今年の特徴は、明治初期までの二井宿古道を往復する“一般コース”と復路を三島通庸によって明治14年に開かれた旧二井宿峠を歩く“健脚コース”との2コース設定したことです。50名の参加者は7班に分かれて、リーダーの案内で古道を探索しました。



このハイクの特徴は、歴史の古道を歩くだけでなく、道端の山野草や植生などの植物も説明とともに楽しめることです。配布の案内には100種類の植物リストがありますが、今年は春が早くいつも観られるカタクリやヒトリシズカなど早い植物はもう終わっていました。

しかし、新緑の森の中を歩くのは、心地よい疲れと心のリフレッシュとなりました。

(みやぎ街道交流会 山屋)

第七回ふくしまけん街道交流会 in たじま・御蔵入

—平成20年度春の交流会、奥会津地方歴史民俗資料館内「山王茶屋」にて開催—

【街道講演会】

前田島町郷土史研究会長の渡部力夫さんより「下野街道が歴史的に大変重要な役割を果たしてきた。古代の道、中世の道、近世の下野街道、この街道を通った人々など物語を刻んできた下野街道」という内容で講演をいただきました。



【街道探訪会】

街道講演会終了後、バスに乗り下野街道を南下。会津三方道路福島口から山王峠を目指し、下野街道に入り探索しました。標高906mの峠を目指し、ここを越える旅人の無事を祈るべく建立されていた山王権現様の礎石や太平洋と日本海の間分水嶺、弘化元年(1844)に建立された馬頭観音碑など案内していただきました。



【街道談義】

街道談義は場所を湯野上温泉に移動し開催。代表世話人の吉村徳男さんの挨拶、街道指南役の山屋敏英さんによる「街道と交流」についてのお話、そして、次回開催地松川街道(会津中街道)の活動に取り組んでいる大松川区長佐藤さんの乾杯で談義が始まりました。



次回開催は10月25・26日、場所は下郷町の松川街道です。松川街道には一里塚(杉ノ沢、野際、日暮滝)も数多くの残っており、観音沼など紅葉の素晴らしい季節になると思いますので、次回の松川街道交流会も楽しみにしていただきたいと思います。

(「ふくしまけん街道交流会」瓦版第21号より)

今回報告したイベント

【5月】10日「第10回二井宿峠古道ハイク」山形県高島町／24日～25日「戊辰戦争140年 in セケ宿」宮城県セケ宿町(セケ宿町活性化センター)／31日「第七回ふくしまけん街道交流会 in たじま・御蔵入」福島県南会津町／【6月】1日「歴史の道健康ウォーキング第2回会津下野街道をゆく」福島県下郷町／7日～8日「越後米沢街道・十三峠 ツーデーウォーキングと篠笛・和太鼓コンサート in 横根」山形県小国町・飯豊町／【7月】5日～6日「第3回萱野峠・敷石惚れ掘れ探検隊～温身平ブナの原生林散策ツアー」山形県小国町

越後米沢街道・十三峠 ツーデーウォーキングと篠笛・和太鼓コンサート in 横根

—「越後米沢街道・十三峠交流会」の初めての街道探訪会・3団体が連携して開催—

「越後米沢街道・十三峠交流会」の初めての街道探訪会が平成20年6月7日(土)～8日(日)に開催されました。後援は、NPO法人となった「ここ掘れ和ん話ん探検隊」。そして、小国町の玉川地域振興協議会・黒沢峠敷石道保存会、飯豊町の手ノ子地区振興協議会の3団体の連携によって開催されました。

【1日目:大里峠・萱野峠・朴ノ木峠】 《大里峠》

国道113号関川村片貝から村道に入り、バスで畑鉦山跡までどり着きました。畑鉦山は、明治35年から銅の採掘・精錬を開始し、戦時中に栄え300人近い人が働いていたそうです。天気にも恵まれて素晴らしい新緑の街道探訪会になりました。

↓大里峠【標高487m】の祠前にて



↓畑鉦山跡



↓玉川橋を渡って峠道



↓昨年掘った敷石を確認しながら歩く《萱野峠》



玉川橋を渡って峠道へ。昨年掘った敷石の位置を確認しながら歩きました。

《朴ノ木峠》

朴の木峠は頂上から今日の宿泊地“健康の森”に向かって下りました。この峠道にも敷石があります。

篠笛と和太鼓の演奏→



↓待望の黒沢峠へ出発



《篠笛・和太鼓コンサート in 横根》

夕方は、健康の森の交流館前の野外ステージで、仙台市の佐藤久美子さんの篠笛とそのグループの和太鼓の演奏。その合間に川西町の演劇グループの朗読劇が披露されました。

【2日目:黒沢峠・宇津峠】

昨夜の疲れもなんのその新たなメンバー4名も加わり黒沢峠へ出発しました。

《黒沢峠》

黒沢峠敷石道保存会副会長の保科勝美さんの案内によるブナの新緑の敷石道は、今回は森林シャワーとともに心暖かく出迎えてくれました。

《宇津峠》

時間が遅れているので、昭和40年代までの国道をバスは出来るだけ進み峠近くで下車です。

井上実行委員長の案内で、峠付近に米沢藩が設けた介茶屋や宇津明神跡にある弘化2年(1845年)の道普請供養塔の詳しい解説を頂きました。

～参加した感想～

- 個人としては、初めて大里峠を歩くことが出来ました。
- 「越後米沢街道・十三峠交流会」が発足し、小国町の玉川地域振興協議会、黒沢峠敷石道保存会、そして飯豊町の手ノ子地区振興協議会の連携した、初の街道探訪会であった訳ですが、素晴らしい街道と自然や歴史を感じる事が出来ました。
- 篠笛・和太鼓のコンサートと朗読劇を聞くことが出来たことは、新しい試みとして大変に参考になりました。

イザベラ・バードが見たであろう赤湯方面の景色→



大変に楽しい街道探訪会でした。「越後米沢街道・十三峠交流会」の皆様にお礼を申し上げます。

(みやぎ街道交流会 山屋)

写真レポート

戊辰戦争140年 in セケ宿

■基調講演

- 作家星亮一先生「戊辰戦争とセケ宿」
- みやぎ街道交流高倉会長「戊辰戦争下のセケ宿街道」

■フォーラム

—「戊辰戦争からセケ宿の地域づくりを考える」



フォーラムの様子



星先生の基調講演



■街道談義

—旬の山菜を使った郷土料理を地元のお母さんたちの手づくりで

■街道探訪会

—戊辰戦争関連の史跡・旧跡を巡る



郷土料理



探訪会

(みやぎ街道交流会 山屋 レポートより)

歴史の道健康ウォーキング第2回会津下野街道をゆく

ふくしまけん街道交流会「in たじま・御蔵入」の翌日、太閤秀吉やイザベラ・バードも辿った「下野街道」を歩きました。



湯野上温泉駅に集合



大名行列でウォーキング



三彩館にて昼食・休憩



木立の中の下野街道

(みやぎ街道交流会 横山 レポートより)

第3回萱野峠・敷石惚れ掘れ探検隊

～温身平ブナの原生林散策ツアー～

3回目の今年は、新たに『プラスあるふあ楽イベント(温泉宿泊交流そして温見平ブナの原生林散策ツアー)』が盛り込まれ、2日間の日程で開催されました。



掘り起こした敷石を前に



丁寧に敷石を掘り起こす



緑の中の温身の池

(みやぎ街道交流会 舟山 レポートより)